

組織サーベイの活用ポイント

～フィードバックの質を上げ、対策の効果をも高める～

株式会社ビジネスリサーチラボ 代表取締役 伊達 洋駆

CONTENTS

- はじめに：こうすればサーベイフィードバックはうまくいく
- ポイント1：見るべき箇所を絞る
- ポイント2：1ページのモデルで表現する
- ポイント3：目指すべき状態を握る
- ポイント4：要因の仮説を聞いておく
- ポイント5：答え合わせの楽しさを演出する
- ポイント6：ポジティブな要素を盛り込む
- ポイント7：サーベイ結果を意味付けする
- ポイント8：短期的な対策を検討する
- ポイント9：中長期的な対策を打つ
- ポイント10：対策のレポートリーを挙げておく
- ポイント11：対策のターゲットを絞る
- ポイント12：個人ワークの時間をつくる
- ポイント13：エピソードが人を動かす
- ポイント14：分析結果を社員にフィードバックする
- ポイント15：対策を打つ際にサーベイに言及する



■伊達 洋駆（だて ようく） 株式会社ビジネスリサーチラボ 代表取締役 www.business-research-lab.com/

神戸大学大学院経営学研究科 博士前期課程修了。修士（経営学）。2009年にLLPビジネスリサーチラボ、2011年に株式会社ビジネスリサーチラボを創業。以降、組織・人事領域を中心に、民間企業を対象にした調査・コンサルティング事業を展開。

主な著書に『現場でよくある課題への処方箋 人と組織の行動科学』（すばる舎）、『越境学習入門 組織を強くする「冒険人材」の育て方』（共著、日本能率協会マネジメントセンター）、『人材マネジメント用語図鑑』（共著、ソシム）、『オンライン採用 新時代と自社にフィットした人材の求め方』（日本能率協会マネジメントセンター）、『組織論と行動科学から見た 人と組織のマネジメントバイアス』（共著、ソシム）、『「最高の人材」が入社する採用の絶対ルール』（共著、ナツメ社）など。